



【先週 5月24日～5月30日の外食の出来事】

■4月の外食売上高4割減、居酒屋・パブは9割以上減少 日本フードサービス協会

4月の外食産業の売上高は、前の年の同じ月と比べて39.6%の減少となり、調査を始めた1994年以降で過去最大の落ち込みを記録。なかでもパブや居酒屋では、売上げが9割以上減少する事態となった。

■コロナ、前期 64億円赤字 「甘太郎」など196店閉店

2020年3月期の連結決算は、売上高が前期比3.7%減の2353億円、純損益は64億円の赤字だった。新型コロナウイルスの影響で厳しい状況が続いており、「甘太郎」などを中心に、不採算の196店を9月末をめどに閉店する。

■トリドール、今期最終赤字7億円 新業態など店舗減損 赤字は上場来初

2021年3月期の連結最終損益が7億円の赤字(前期は19億円の黒字)になりそうだ。赤字は上場以来初。4～9月は、新型コロナウイルスによる客足の減少が続く。新業態店舗などで45億円の減損損失の計上も見込む。

■力の源HD、2020年3月期(‘19年4月～‘20年3月)の連結業績 増収減益

2020年3月期 通期の連結業績は売上高291億600万円(前年同期比6.0%増)、営業利益6億9700万円(同27.2%減)、経常利益6億2300万円(同32.4%減)、親会社株主に帰属する当期純損失2億1400万円(-)。

■ワタミが60～80店規模の閉店へ

ワタミが、全店舗の2割弱にあたる60～80店舗を閉鎖する方針。コロナを契機に不採算店の整理に着手し、収益性を改善させ生き残りを目指す。4月の既存店売上高は前年同月比7.5%と、売上げの9割以上が“蒸発”した。

■ワタミ渡邊会長、サントリーOBの長男を取締役に 事業承継へ

ワタミが、6月28日予定の株主総会で取締役候補者として、渡邊会長の長男、渡邊 将也氏を指名。3月期決算で、65店舗を一気に閉鎖し、最終赤字29億45百万円として、不採算店を整理したことで、事業承継への道筋を。

■APカンパニー、6月1日営業再開 おひとり様歓迎、宴会客コース中止

エー・ピーカンパニーは、6月1日から店舗の営業を再開。ほぼ全店舗を4月2日から休業してきた。当面の間、10名以上での利用を遠慮してもらう。さらに、鍋などの宴会コースの提供を中止する。

■すかいらーく、7月から深夜営業廃止 アフターコロナで深夜族は減る

株式会社すかいらーくホールディングスが、2020年7月1日から、すかいらーくグループ全約2,600店舗の営業時間を原則23時30分に変更し、日をまたぐ深夜営業を原則廃止することを決めた。

■うかい、2020年3月期(2019年4月～2020年3月)の業績 減収赤字

2020年3月期 通期の業績は売上高132億8800万円(前年同期比4.5%減)、営業損失2億6100万円(-)、経常損失2億8300万円(-)、当期純損失4億9500万円(-)であった。